

2021年2月期 第1四半期決算 (補足資料)

2020年7月14日
株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
【東証第一部 証券コード:3387】

I. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]
2. 店舗の営業状況及び既存店前年比について
3. 業績の概要(カテゴリー別)
4. 固定費削減の取り組みについて

II. 2021年2月期業績予想

1. 2021年2月期業績予想の前提
2. 2021年2月期業績の概要
3. 2021年2月期業績予想の概要(カテゴリー別)
4. TOPICS

III. 中期経営計画

1. 中期経営計画(数値計画)

IV. Appendix

1. 出退店及び店舗数について
2. 既存店前年比の推移
3. 財務状況について
4. 株主還元について

1. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]

売上収益:118億円、営業利益:△77億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益:△73億円、調整後EBITDA:△33億円

✓ 売上収益について

- ・新型コロナウイルス感染症による店舗休業や時短営業の影響により、大幅な減収(前年比37.0%)

✓ 営業利益/調整後EBITDAについて

- ・大幅な減収に伴い、徹底した固定費削減努力にも関わらず、かつてない大幅な営業赤字を計上
- ・減損済み店舗中心に72店舗の不採算店舗の退店を意思決定(減損損失等約4.8億円計上)

	2020年2月期 第1四半期		2021年2月期 第1四半期		対前年 差異	前年比
	実 績	売上比	実 績	売上比		
(単位:百万円)						
売上収益	31,950		11,812		△ 20,138	37.0%
営業利益	2,824	8.8%	△ 7,728	-	△ 10,553	-
税引前利益	2,798	8.8%	△ 7,949	-	△ 10,747	-
四半期利益	1,783	5.6%	△ 7,920	-	△ 9,703	-
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	1,539	4.8%	△ 7,304	-	△ 8,843	-
調整後EBITDA ※1	6,460	20.2%	△ 3,320	-	△ 9,781	-

※1:調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入、雇用調整助成金及び賃料減免分等を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

2.店舗の営業状況及び既存店前年比について

	3月 (2020年3月31日時点)	4月 (2020年4月30日時点)	5月 (2020年5月31日時点)	6月 (2020年6月30日時点)
総店舗数	1,150	1,138	1,143	1,137
内、営業店舗数	1,062	259	625	1,051
(営業店舗数/総店舗数)	92.3%	22.8%	54.7%	92.4%
内、営業時間短縮店舗数	632	213	560	792
(営業時間短縮店舗数/営業店舗数)	59.5%	82.2%	89.6%	75.4%
既存店前年比	60.6%	33.1%	36.3%	51.0%
《実質既存店前年比》※	57.4%	11.7%	14.1%	47.4%

6月：速報ベース

既存店前年比の定義について

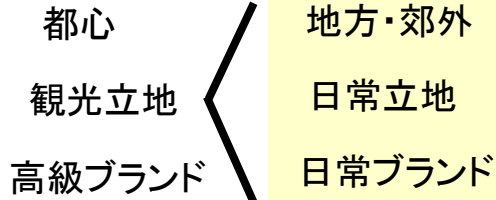
- 既存店前年比:前々年度以前に出店した店舗を既存店としており、2日以上休業した店舗については算出から除外

※新型コロナウイルス感染症の影響により休業店舗が多いため、一時的に「実質既存店前年比」を算出

- 実質既存店前年比:前々年度以前に出店した店舗を対象とし、期間中休業した店舗も含めて算出

3.業績の概要(カテゴリー別)

回復トレンド



カテゴリー別の概要

- ・CR: 商業施設の休業に連動する形で休業、6月末頃にはほとんどの店舗が営業可能となるものの、都心・観光立地の客足の戻りは、地方・郊外の日常立地に比べてやや鈍い状況。焼肉やしゃぶしゃぶ等、肉業態は戻りが好調。(1Q累計実質既存店前年比:22.9%)
- ・SFP: 4月の緊急事態宣言発令後に一斉休業。営業時間短縮要請の解除に伴い売上高が徐々に回復。テイクアウト及びデリバリー強化。(1Q累計実質既存店前年比:28.3%)
- ・専門: つけめん業態やそば業態、ベーカリー業態等は健闘。専門性を活かしつつテイクアウトやデリバリーを強化。(1Q累計実質既存店前年比:35.9%)
- ・海外: 台湾や香港は新型コロナウイルス感染症による影響は比較的軽微。北米・シンガポールは4月からのロックダウンにより全店休業を余儀なくされ、営業再開は6月以降段階的。(1Q実質既存店前年比:20.0%)

(単位: 百万円)

カテゴリー	2020年2月期1Q			2021年2月期1Q			差異		
	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比
CR	12,054	1,710	14.2%	3,428	△2,279	—	△8,625	△3,989	—
SFP	10,191	1,400	13.7%	3,044	△1,406	—	△7,146	△2,806	—
専門 ^{ブランド}	9,144	837	9.2%	4,483	△1,590	—	△4,661	△2,427	—
海外	847	11	1.4%	952	△778	—	+104	△790	—
その他調整額	△286	2,501	—	△95	2,733	—	+190	+231	—
合計	31,950	6,460	20.2%	11,812	△3,320	—	△20,138	△9,781	—

※その他調整額は、主に各カテゴリーには配分していない全社費用及びIFRS適用に伴う調整等であります。

※カテゴリーCF=営業利益(日本基準)+減価償却費+のれん償却費+協賛金収入+非経常的費用項目+期間対応収益項目(雇用調整助成金等)

4.固定費削減の取り組みについて

店舗人件費

休業店舗における社員は一時帰休、休業手当を支給する一方で、雇用調整助成金を申請

家賃

地代家賃の減免交渉を実施、最低保証賃料の撤廃や売上歩合比率の引き下げにより、賃料を約10億円削減

※賃料の減免額は交渉ベースの概算値となります

本社経費

- ・役員報酬の自主返納(6ヵ月)
(業務執行取締役5名△25%、執行役員4名△20%)
- ・本社スタッフにおいても可能な限り一時帰休を励行

その他

- ・新規投資の抑制:55億円→42億円(△13億円)
- ・不採算店舗の積極的な閉店を通じた営業損益の改善
⇒72店舗の退店を意思決定済み(更に追加も検討中)

※退店数においては、今後の状況によって変動が生じる可能性があります

II. 2021年2月期業績予想

1. 2021年2月期 業績予想の前提

環境認識: ライフスタイルの変化により、消費行動は従前と同様の水準まで完全に戻らないと想定

売上収益

- ・回復時の既存店前年比を90%に設定
- ・実質既存店前年比は、2020年7月70%、8月80%、9月90%と徐々に回復するも、2月まで90%にて横ばいで推移するものと想定

新しい生活様式に対応した業態・運営変更の推進

社会的距離の確保、非接触スタイル・短時間の接客

強みである「変化対応力」を駆使しつつ、業態変更や撤退を柔軟に推進し、ポートフォリオを改善

- ◆ 感染防止対策徹底による安心・安全な店舗運営
- ◆ テイクアウト・デリバリーの強化
- ◆ 日常・地域密着型ビジネスへの経営資源の配分
⇒「かごの屋」、「遊鶴」、「いっちょう」etc

聖域なきコスト削減

- ◆ 固定費削減努力の継続
- ◆ グループ事業会社の再編による間接コストの更なる圧縮

・クリエイト・ダイニング社
・クリエイト・ベイサイド社
・木屋フーズ社

3社合併
商号: クリエイト・ダイニング社

・ルモンデグルメ社
・イトウォーク社

2社合併
商号: LG&EW社

2. 2021年2月期 業績予想の概要

▶ 売上収益: 1,060億円、営業利益: △62億円、調整後EBITDA: 110億円

	2020年2月期		2021年2月期		差異	増減率
	実績	売上比	予想	売上比		
(単位: 百万円)						
売上収益	139,328		106,000		△ 33,328	△23.9%
営業利益	3,483	2.5%	△ 6,200	-	△ 9,683	-
税引前利益	3,118	2.2%	△ 7,000	-	△ 10,118	-
当期利益	1,818	1.3%	△ 7,300	-	△ 9,118	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,278	0.9%	△ 6,900	-	△ 8,178	-
調整後EBITDA	25,212	18.1%	11,000	10.4%	△ 14,212	△56.4%

※調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入、雇用調整助成金及び賃料減免分等を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

3. 2021年2月期 業績予想の概要(カテゴリー別)



カテゴリー	2020年2月期			2021年2月期			差異		
	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比
CR	51,843	5,992	11.6%	38,000	△500	—	△13,843	△6,492	—
SFP	40,216	4,532	11.3%	25,000	△800	—	△15,216	△5,332	—
専門ブランド	39,198	2,921	7.5%	33,000	100	0.3%	△6,198	△2,821	△7.2%
海外	8,962	1,173	13.1%	11,000	100	0.9%	+2,037	△1,073	△12.2%
調整等	△893	10,591	—	△1,000	12,100	—	△106	+1,508	—
合計	139,328	25,212	18.1%	106,000	11,000	10.4%	△33,328	△14,212	△7.7%

※カテゴリーCF=営業利益(日本基準)+減価償却費+のれん償却費+協賛金収入+非経常的費用項目+期間対応収益項目(雇用調整助成金等)

※調整等は、主に各カテゴリーには配分していない本社経費、及びIFRS組替に伴う調整等であります。

カテゴリー	2020年 2月末 店舗数	増減数		移管等 (調整) ※2	2021年2月末 予想店舗数	業態 変更 ※3
		出店	退店※1			
CR	569	33	38	+2	566	3
SFP	275	4	24		255	2
専門ブランド	251	17	9		259	
海外	54	6	1		59	
グループ総店舗数	1,149	60	72	+2	1,139	5

※1:退店数においては、今後の状況によって変動が生じる可能性があります

※2:グループ内における業態変更及び移管の店舗数を記載しており、期を跨ぐ業態変更等の店舗数も含めて記載しております。

※3:グループ内における業態変更も含めた店舗数を記載しております。

4.TOPICS

▶集客立地に多様なブランドを一括運営する「フードホール」を相次いで出店

2020年6月(本OPEN)、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドに「BAYSIDE FOOD HALL」(6店舗)を出店



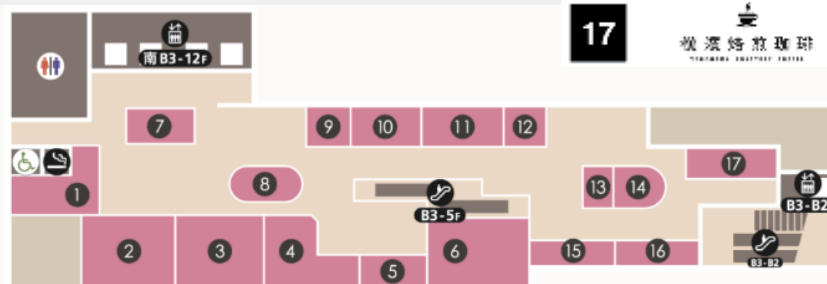
BAYSIDE FOOD HALL



2020年7月、JR横浜駅直結のCIAL横浜に「バル&キッチンハマチカ」(17店舗)を出店



- | | | | |
|---|------------------|----|---------------|
| 1 | RIO GRANDE GRILL | 9 | こっつええ本舗 |
| 2 | PIZZA ROMANO | 10 | チヤンゴ |
| 3 | 寿々の助 | 11 | 肉そば 右衛門 |
| 4 | つけめん TETSU | 12 | VCYLO Bánh Mi |
| 5 | #海南鶏飯食堂 | 13 | 金子酒店 |
| 6 | 五右衛門 おお潮 | 14 | 南亭 |
| 7 | CRAFT BEER TAP | 15 | 一口餃子 宝龍軒 |
| 8 | Bar Tapas Celona | 16 | MEAT BALL |
| | | 17 | 燒滾燒滾 |



III. 中期経営計画

1.中期経営計画(数値計画)



(単位:百万円)

	2020年2月期 (実績)		2021年2月期 (予想)		2022年2月期 (計画)		2023年2月期 (計画)	
売上収益	139,328		106,000		136,000		140,000	
成長率	116.8%		76.1%		128.3%		102.9%	
営業利益	3,484	2.5%	△ 6,200	-	4,500	3.3%	5,400	3.9%
税引前利益	3,119	2.2%	△ 7,000	-	4,300	3.2%	5,300	3.8%
当期利益	1,818	1.3%	△ 7,300	-	3,600	2.6%	4,400	3.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,279	0.9%	△ 6,900	-	3,500	2.6%	4,200	3.0%
調整後EBITDA	25,212	18.1%	11,000	10.4%	22,400	16.5%	23,700	16.9%

※M&A実行の際には、上記数値に変更が生じる可能性があります

IV. Appendix

1.出退店及び店舗数について

➤ 新規出店29店舗、退店37店舗、業態変更5店舗

⇒2020年5月末グループ総店舗数:1,143店舗

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の開業延期等に合わせて出店の一部に月ズレあるものの、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドに「BAYSIDE FOOD HALL」や、郊外のイオンモールにしゃぶ菜等を出店
- ・不採算店舗の退店を積極的に実施
⇒ビュッフェ業態(17店舗)、居酒屋業態(4店舗)など、1Qにおいて37店舗退店
(今期72店舗の不採算店舗の退店を意思決定済み)

【2021年2月期1Q 出退店一覧】

カテゴリー	2020年 2月末 店舗数	増減数		移管等 (調整) ※1	2020年 5月末 店舗数	業態 変更 ※2
		出店	退店			
CR	569	14	28	+2	557	3
SFP	275	5	4		276	2
専門ブランド	251	7	5		253	0
海外※3	54	3	0		57	0
グループ総店舗数※4	1,149	29	37	+2	1,143	5

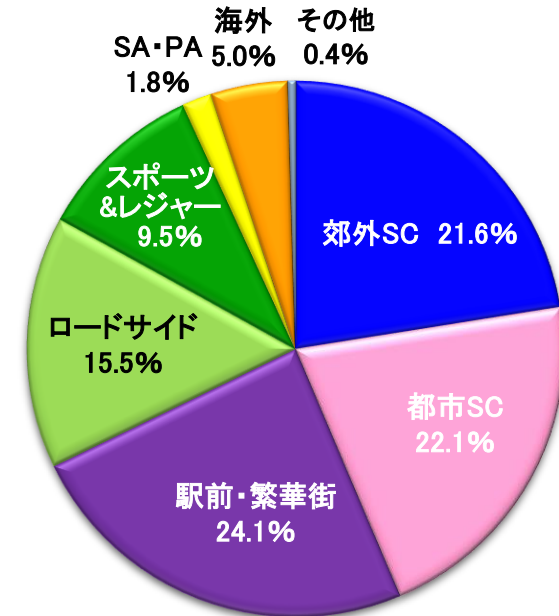
※1: グループ内における業態変更及び移管の店舗数を記載しており、期を跨ぐ業態変更等の店舗数も含めて記載しております。

※2: グループ内における業態変更も含めた店舗数を記載しております。

※3: 海外カテゴリーの店舗数には、EW社のジャカルタにおけるFC2店舗及びKR社のタイにおけるFC8店舗を含んでおります。

※4: 本資料上における期末店舗数は、2020年5月末時点での業務受託店舗、FC店舗を含むグループ総店舗数を記載しております。

【立地別店舗数の構成比(2020年5月末時点)】



2. 既存店前年比の推移

【連結】

	3月	4月	5月	1Q累計	6月	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月	1月	2月	通期計
2021年2月期	60.6%	33.1%	36.3%	52.7%												
※実質既存店前年比	57.4%	11.7%	14.1%	27.8%												
2020年2月期	99.6%	98.3%	101.3%	99.8%	101.3%	100.1%	101.3%	100.2%	100.3%	93.5%	99.9%	99.3%	97.6%	101.0%	95.4%	99.2%

【カテゴリ別】

		3月	4月	5月	1Q累計	6月	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月	1月	2月	通期計
CR	2021年2月期	54.7%	40.1%	40.7%	51.6%												
	※実質既存店前年比	45.9%	11.7%	8.9%	22.9%												
	2020年2月期	100.9%	99.8%	103.6%	101.4%	107.4%	101.4%	103.5%	102.7%	100.3%	94.0%	100.2%	101.1%	96.3%	100.4%	90.7%	99.9%
SFP	2021年2月期	62.1%	58.9%	58.5%	62.2%												
	※実質既存店前年比	62.1%	5.2%	16.1%	28.3%												
	2020年2月期	98.6%	96.6%	98.3%	97.9%	97.1%	100.2%	102.3%	98.9%	99.7%	92.6%	101.0%	98.5%	99.1%	103.7%	96.6%	99.0%
専門ブランド	2021年2月期	64.7%	29.7%	33.0%	48.4%												
	※実質既存店前年比	63.2%	19.9%	22.1%	35.9%												
	2020年2月期	99.1%	98.4%	102.3%	100.0%	98.1%	96.0%	97.7%	98.6%	101.1%	93.1%	99.3%	98.2%	96.5%	100.0%	99.8%	98.4%
海外	2021年2月期	63.7%	48.0%	75.0%	63.6%												
	※実質既存店前年比	46.1%	3.7%	4.1%	20.0%												
	2020年2月期	100.6%	97.6%	94.0%	97.0%	99.8%	94.4%	94.6%	95.4%	99.0%	95.6%	97.5%	96.9%	100.3%	99.6%	95.1%	99.2%

既存店前年比の定義について

- 既存店前年比: 前々年度以前に出店した店舗を既存店としており、2日以上休業した店舗については算出から除外
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により休業店舗が非常に多いため、一時的に「実質既存店前年比」を定義し、表示しております
- 実質既存店前年比: 前々年度以前に出店した店舗を対象とし、期間中休業した店舗も含めて算出

3. 財務状況について

主要指標	2019年2月末 (IFRS16号適用後)	2020年5月末 (IFRS16号適用後)	差異	備考
資産合計(百万円)	149,997	169,383	+19,386	
負債合計(百万円)	125,808	153,277	+27,469	
資本合計(百万円)	24,188	16,106	△8,082	
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)	10.9%	5.2%	—	(参考)除くIFRS16号影響:9.1%
ネットD/Eレシオ	5.11倍	10.78倍	—	(参考)除くIFRS16号影響:4.29倍
ネット有利子負債営業CF倍率	3.36倍	—	—	

4. 株主還元について

株主優待制度について ▶▶ 今後も引き続き実施



✓ 株式分割に伴い、株主優待を拡充

- ・2020年2月末を基準日とし、1株につき2株の割合をもって分割
- ・2020年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された当社株式1単元(100株)以上の株主からが対象(11月中旬送付予定)

【変更後の株主優待制度】

変更前		変更後	
年2回(2月末日/8月31日)		年2回(2月末日/8月31日)	
保有株式数	優待内容(お食事券)	保有株式数(※1)	優待内容(お食事券)
100株以上	3,000円分	100株以上	2,000円分
		200株以上	4,000円分
		400株以上	6,000円分
		600株以上	8,000円分
500株以上	6,000円分	1,000株以上	10,000円分
1,500株以上	15,000円分	3,000株以上	16,000円分
		6,000株以上	24,000円分
4,500株以上	30,000円分	9,000株以上	30,000円分

【変更後の継続保有株主優遇制度(※2)】

変更前		変更後	
年2回(2月末日/8月31日)		年2回(2月末日/8月31日)	
継続保有株式数	優待内容(お食事券)	継続保有株式数(※3)	優待内容(お食事券)
200株以上	1,500円分を追加贈呈	400株以上	2,000円分を追加贈呈
		3,000株以上	4,000円分を追加贈呈
		6,000株以上	6,000円分を追加贈呈
		9,000株以上	8,000円分を追加贈呈

※1: 株式分割後の保有株式数を表示しております。

※2: 継続保有株主優遇制度は、株主名簿確定基準日(2月末日及び8月31日)の株主名簿に、株式分割後に400株以上の保有を同一株主番号で連続して3回以上記載または記録されている株主を対象に、「株主様ご優待券」を追加贈呈いたします。

※3: 株式分割後の保有株式数を表示しており、継続保有株式数とは、継続保有の対象期間において保有株式数に変動があった場合、直近3回の基準日のうち一番少ない保有株式数のことを指します。なお、対象となる2020年8月31日現在より前の基準日における保有株式数につきましては、株式分割を反映し、遡及修正した保有株式数にて判別いたします。

✓ 有効期限を延長(2020年5月31日までの株主様ご優待券⇒2020年8月31日までに延長)

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部の店舗において休業等を伴う不規則な営業状況
⇒利用期限を延長することで、株主の皆様の利用機会を増やすことで、利便性を考慮
※2020年5月31日までの有効期限の株主様ご優待券のみの適応

配当について

- ✓ 2021年2月期の配当予想(中間配当及び期末配当)については、先行き不透明のため、引き続き**未定**とする

本資料は、2021年2月期第1四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料に記載した内容は、資料作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、その情報の正確性、完全性を保障または約束するものではなく、予告なしに変更される可能性があります。

《IRに関するお問い合わせ先》
経営企画部 IRチーム
8022@createrestaurants.com